キラリびと
Special Interview

デコレーション
アーティスト

ROSE ヨーコさん

経験を糧に出来る人間になりたい
母の介護を乗り越えた先に、見えた光

プロフィル／福岡市在住。2008年アメリカで開催される映画の祭典「アカデミー賞授賞式前夜祭」パーティーエキシビジョン、「MTVmovie award gifting sweet」のセレブリティーパーティーに出展、世界のセレブを魅了。2012年QVCテレビショッピングで、デザイナー・下城進一郎さんとのコラボブランド「Castle Rose」がデビュー。好評を博す

海外でも高い評価を受け、東京春夏コレクション出展やグンゼのボディワイルドラインでも自身のアート5点がメジャーデビューするなど、福岡を基点に世界に向けて活躍するROSEヨーコさん。

本格的に創作活動に入ったのは2000年からというから驚き。自身の作品をプロデュースする会社も4年前に始めたばかり。

創作のきっかけは、90歳を超えたお母さまの介護でした。絶対家で看ると決め、仕事も何もかも捨ててでも、一緒にいたいと願ったはずの大好きな母。それでも、入退院を繰り返す母親の介護にフラストレーションはたまる一方。

「あるときベランダで洗濯物を干していたら、ふっと下に飛び降りたくなったんです。死にたいとかでなく、逃げたくなったんですね」

極限の精神状態の中、マグマのように内側から出るエネルギーに任せ、手が動くままに創作活動を始めます。

「死を目前にした人を看るのは、相当なエネルギーが必要。美しいものを作ることで、自分の心も救われていたんです」

愛する母の再生と復活への祈りを込め、生きる力の根源である「愛」「夢」「未来」「癒し」などをイメージに、トルソーをキャンバスに独自の技法でバラのモチーフやアンティークレース、ビーズを贅沢にデコラティブした作品を次々と創作。

デザインの学校を出たわけでもなく、専門的な知識もない。介護に入るまでのヨーロッパ商品のバイヤーとしての豊富な活動と、20代の頃に始めた油絵、経験で磨き上げられた感性が融合した唯一無二の世界観。創りだされた作品たちは、人の縁に導かれ、一気に世界へと羽ばたきました。

アーティストとビジネスという二足のわらじで奮闘するヨーコさん。今後の目標は、さまざまな分野のアーティストとのコラボレーション。「人はパンのみでは生きていけない。愛や、夢、希望やロマンをさまざまな形で追い求めていきたい」

母との壮絶で濃密な10年があったからこそ今があると語ります。

「〝経験を糧に出来る人間にならんとつまらん〟と言い聞かせています。どうせ人生片道切符、進むしかないなら、心豊かに元気に踏ん張って楽しまないと」

（編集長・野尻由香）

作品名「復活」（写真左）をモチーフとしたライブ壁紙を公開中。右のQRコードを読み取ってAndroid端末でダウンロードを。収益の一部は日本赤十字社の義援金として寄附されます。
http://www.rose-yoko.com/

「『第9回ルセルクル 久保山菜摘チャリティーコンサート』～Roseヨーコのアートに包まれて」
4月27日（土）福岡銀行本店大ホールで開催予定
（問）ルセルクル☎090-7384-0405（久保山）